

議会だより



撮影者：フォト集団オリーブ 城上 智子

風に泳ぐこいのぼり

- 審議議案 3月定例会について…………… 2～4
- 一般質問 10人の議員が質問…………… 5～11
- 子ども議会…………… 12・13
- 議会日誌…………… 14

を目指して」

令和2年度
一般会計

96億5800万円を可決

令和2年度 主な事業・新規事業



健康・福祉のまち

介護保険施設改修支援	8,300万円
職員等への研修費補助費	922万円
子育て世代包括支援センター設置	412万円
介護予防リーダーの育成	72万円
健康ポイント事業	59万円

定住・交流のまち

避難所の機能強化(イメージセンター改修)	5,798万円
坂手港浮棧橋改良	3,650万円
内海庁舎跡駐輪場新設	198万円
ごみ分別ガイドブック作成配布	105万円
空き家巡回相談	50万円



産業のまち

日本遺産推進	1,240万円
観光デジタルサイネージ(案内板)設置	750万円
オリーブ公園開園30周年	393万円
イノシシ等被害復旧支援	250万円
製氷冷蔵冷凍施設設置支援	97万円

教育・文化のまち

図書館設備更新	2,260万円
星城小学校トイレ改修	810万円
生徒指導主事配置	270万円
子どもの夢応援プロジェクト	200万円
プログラミング教育推進	67万円



行財政改革の推進

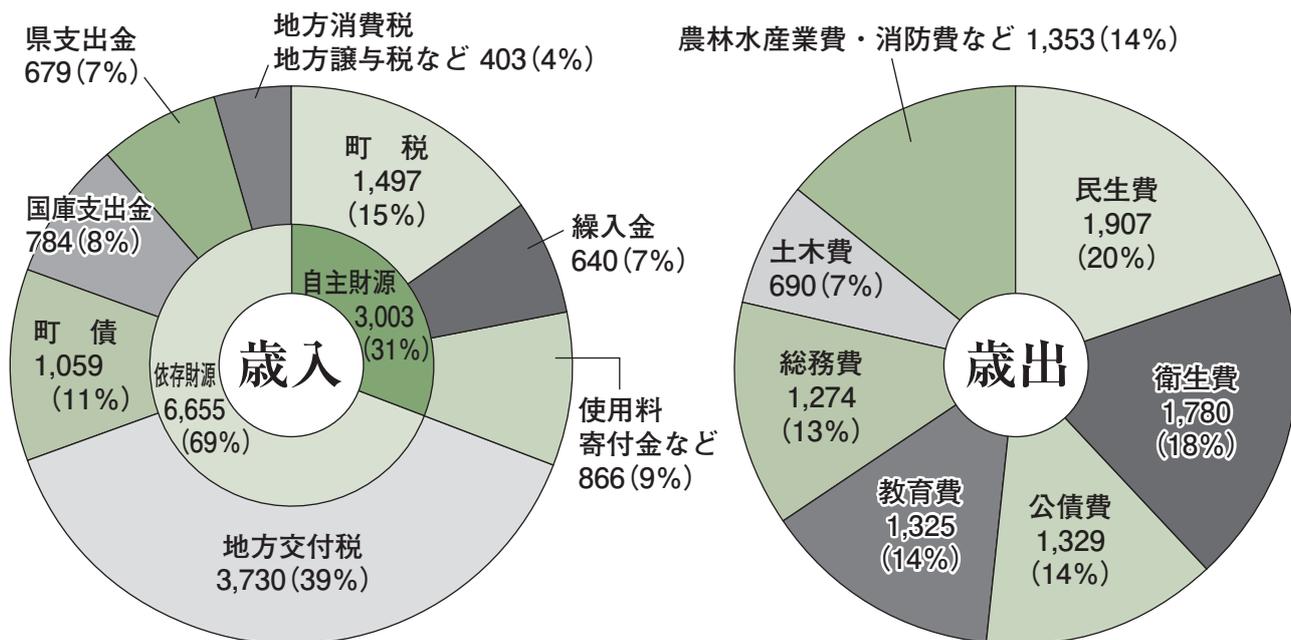
公共施設のあり方の検討	9,374万円
組織体制の見直し	200万円
「人財」育成強化	110万円

「人が集い、元気なまち

3月定例会を3月4日から3月18日まで15日間の会期で開催しました。

初日に、町長の施政方針の演説があり、「人が集い、元気なまちを目指して」5つの分野に予算を編成していくことを表明しました。

予算案件12件をはじめ、条例案件10件、契約案件2件、人事案件3件、その他案件2件が提案されたほか、報告2件、発議2件、請願1件がありました。予算案件7件、条例案件2件と請願1件は各常任委員会に付託し慎重に審査を行いました。全ての議案は原案通り可決となり、請願については不採択となりました



(単位：百万円、構成比：%、百万円未満は四捨五入)
※端数処理の関係上、数値が合わない場合がある

委員会として次の意見を付しました。

- ・新型コロナウイルスの影響に十分配慮した予算の執行に努められたい。

審議した主な議案

補正予算

一般会計 (第6号)
追加補正予算額

2億8990万円

一般会計 (第7号)
追加補正予算額

▲8148万円

事業の精算による減や人件費が減になった一方、基金積立金の増等により、2億842万円増の102億8748万円となりました。

(衛生費)

ふるさとづくり

基金積立金
2億9222万円

一般廃棄物最終処分場整備にかかる交付金について、令和3年度分までが一括交付されたため、令和2年度事業分以降の金額を基金に積み立てます。

(土木費)

橋梁長寿命化

969万円
国の交付金追加内示に伴い増額補正しました。

国民健康保険事業

特別会計 (第2号)

7965万円増の2億7347万円となりました。主な要因は療養給付費が増となったことによるものです。

後期高齢者医療事業

特別会計 (第1号)

132万円減の2億9119万円となりました。電算システム改修費が減となったことによるものです。

介護保険事業

特別会計 (第2号)

2418万円増の2億941万円となりました。主な要因は居宅介護サービス給付費が増となったことによるものです。

条例の改正

職員定数条例

香川県広域水道企業団に派遣している職員について、身分移管が見送られ派遣継続となったため、職員定数について改正しました。

職員の服務の宣誓に

関する条例 国の法令整備に伴い改正し、会計年度任用職員も対象となりました。

町税条例

固定資産税の前納報奨金制度を廃止する改正を行います。施行日は令和3年4月1日からです。

急傾斜地崩壊対策事業 分担金徴収条例

急傾斜地崩壊対策事業の分担金について、100分の30から100分の5へ改正しました。



急傾斜地崩壊対策事業

道路占用料徴収条例

道路の占用料について、看板や旗ざお等が一律の料金でしたが、個別の料金へ改正しました。

介護保険条例

消費税増税に伴い、介護保険料について改正しました。低所得者の保険料について、更なる軽減を行います。

介護保険施設事業の設置及び管理に関する条例

後述の地方自治法第180条第1項の規定による小豆島町長専決処分指定事項の一部改

正に伴い、改正しました。

人事案件

人権擁護委員

現在の委員である八木さゆみ氏、中山知子氏の任期が令和2年3月31日までとなっていました。引き続き2氏を委員として推薦することに適任との答申を行いました。任期は3年です。

工事請負契約

● 工事名 一般廃棄物最終処分場整備 造成工事 ● 相手方 株式会社 竹本組 ● 契約金額 9493万円

契約の変更

● 工事名 一般廃棄物最終処分場整備 仮設道路工事 ● 契約金額 8547万円

変更後 6595万円

Q 減額となった理由は。

A 立木伐採にかかる経費が大幅に減少したためである。

その他

瀬戸・高松広域連携中核都市圏の形成に係る連携協約

国の法令整備に伴い改正します。ふるさと納税の返礼品について、連携市町の地場産品を設定できるようにしました。

辺地総合整備計画

新たに追加された計画は次のとおりです。西村辺地 消防団可搬ポンプ更新

池田辺地

製氷冷蔵冷凍施設の整備

三都辺地

消防車両の配備 町道神浦外浜奥条線の改良

安田辺地

橋梁の長寿命化 草壁辺地 橋梁の長寿命化

発議

議会委員会条例の一部を改正する条例 役場組織再編に伴い、各常任委員会の所管について改正しました。

請願

日本政府に「核兵器禁止条約の調印・批准をすることを求める」意見書採択を求める請願 提出者 香川県原爆被害者の会 会長 好井 敏彦 筆頭代表理事 松永 始

紹介議員 鍋谷真由美 審議をした結果、不採択となりました。

全国町村議会議長会表彰



森口 久士議員

森口議員が、議員として議会の運営及び地域の振興発展に貢献したとして、全国町村議会議長会より自治功労者表彰を受けました。

3月定例会 一般質問

森口 久士（8P）

- 関係人口に関して
- ドライブレコーダーを公用車に設置しては

中松 和彦（8P）

- 子どもたちにUターンを望むならば

安井 信之（9P）

- 情報弱者に対する施策は
- 特別支援学校開校までの障害者教育は
- 商工会のポイント制度と自治体ポイントの共用を

森 崇（10P）

- 小学校のトイレの改善は
- 瀬戸内海の栄養不足は
- 働き方改革と教職員労働の改善は

鍋谷真由美（11P）

- 学校休業は柔軟な対応を
- 教職員の変形労働時間制は導入すべきでない
- 国保税の資産割の廃止を

浜口 勇（5P）

- 水森かおりさんの新曲「瀬戸内小豆島」の応援を
- 新型コロナウイルス拡散防止に向けての対応は

大下 淳（6P）

- 水田農業に支援を
- 情報発信力の強化を

藤井 孝博（6P）

- 安心・安全な町づくりのため「防犯カメラ設置」の推奨を

大川 新也（7P）

- ふるさと納税の有効活用は
- 危機管理体制の強化とは

柴田 初子（7P）

- 乳がんの自己検診用グローブの配布を

一般質問

質問 中国から広がった感染症は今や世界中に広がっている。人の集うイベントや催し物は各地で中止や延期となり、小豆島への観光客は日本人、外国人と

答弁 新型コロナウイルス感染症は目に見えない脅威との闘いで予

新型コロナウイルス 拡散防止に向けての対応は
町「スピード感のある迅速で適切な対応を行う」

も極端に減っている。町が関与する行事は今後どうなるのか。

断を許さない状況だ。2月25日に国の基本方針が示され、26日には町長を本部長とする対策本部を設置し全職員に周知した。多数が参加する町主催の集会等は中止か延期することにし、全職員が情報の共有を図り、町長の指導のもとスピード感のある迅速で適切な対応を行う。

質問 デビュー25周年記念曲として新曲を発売した。歌詞の1番2番3番に「小豆島」が歌われている。作曲はヒットメーカーの弦哲也氏で、テレビで放送されるたびに小豆島が日本中に宣伝される千載一遇のチャンスでは。

答弁 NHK番組「うたコン」で水森かおりさんが小豆島の自然の映像をバックに歌う姿を見て小豆島への思いを強く感じた。小豆島観光協会と歩調を合わせて全面的に応援する。



浜口 勇 議員

水森かおりさんの新曲「瀬戸内小豆島」の応援を
町「小豆島観光協会と歩調を合わせて全面的に応援する」



「瀬戸内小豆島」イメージ



大下 淳 議員

水田農業に支援を

町「実情に合った

支援を行いたい」

質問 水田農業は高齢化や後継者不足とともに安価な米価や鳥獣被害などの理由で耕作放棄地が増え続けている。

また、荒らすわけにはいかないとの思いから耕作を続ける人がいるが、多くが高齢者で5年先が見通せない状況にある。

水田には水や土砂を



水田の維持を

受け止めるなど自然を守る機能がある。

町内にある水田地帯を守るために、地域や組織農業者に支援が必要ではないか。

答弁 町内の農業は、担い手不足や耕作放棄地の増加などで深刻な状況にあり、しっかりと見直しを立てることが本町の農業の明るい未来に必要なものである。

その元となる「人・農地プラン」の実質化に向け、地域の話し合いに基づいた将来方針を作成し、水田農業など地域の実情に合った支援に取り組んでまいりたい。

(他の質問事項)

「情報発信力の強化を」

再質問 地域でそれぞれ実情があるが、何が課題であって何が出来るかということを、地域と話しあっていることが重要である。水田の維持や次の世代への伝承がうまくいくようJAや普及センターなどと協力しながら取り組んでいただきたいが。

答弁 各種の補助事業を推進するとともに関係団体とも連携して地域との話し合いの場を持ち、今後の農地利用を担う中心経営体に関する方針を決定してまいりたい。



藤井 孝博 議員

安心・安全な町づくりのため

「防犯カメラ設置」の推奨を

町「関係機関との連携を図り、

設置数の増加に努める」

質問 ①本町は、急激に加速する高齢化や人口減少の一方、国内外の観光ブームにより交流人口は増加傾向にあり、町民を取り巻く生活環境は大きく変化している。

しかし、町民が安心して暮らせる対策としての防犯カメラ設置状況は、各港と自治会管理の6カ所所犯罪防止策としては少ない。

最近、多発している事件や事故現場での防犯カメラの活用は多様化しており、防犯対策の一環として必要である。

なお、県では、犯罪のない町づくりに積極的に取り組んでおり、防犯カメラ設置に関する補助金の交付を行っている

いる。

そこで、本町の安心・安全な町づくりのために、防犯カメラ設置の推奨は。

②子どもたちを守るため、教育現場周辺の事件・事故等の管理体制として防犯カメラ設置の考えは。

治会集会所整備事業補助金の備品購入項目に新たに防犯カメラを追加して、各地区の防犯カメラ設置数の増加に努める。

②通学路を含めた教育現場において、学校支援ボランティアや老人クラブの方々、また警察署の協力を得ながら防犯対策の徹底に努めている。今後、防犯カメラは犯罪を抑制する手段として有効と考え、中学校の録画機能見直し、また各小学校の設置を前向きに検討したい。



自治会設置の防犯カメラ



大川 新也 議員

ふるさと納税の有効活用は

町「今後使途を幅広く紹介して継続寄付に」

紹介して継続寄付に

質問 19年度当町へのふるさと納税額は1億6800万円で過去最高と発表された。施政方針には「今後頂いた寄付金の活用事例を積極的にPRしていく」とあるが、納税者の意向に沿った活用がなされているのか。18年度1億1515万円を例に詳細を。

①実質活用できる額は。
②意向に沿った活用か。
③次年度で全てが活用されているのか。
④今まで寄付者へ使途周知は、また今後寄付者への対応は。

生活・環境 515万円
観光・産業 2817万円
自治・自立 338万円
合計で6561万円
次年度予算に計上した。

④十分な周知は出来ていなかった。今後使途を幅広く紹介し、継続した寄付に繋がるよう努める。

危機管理体制の強化とは

町「防災・減災対策は喫緊の最重要課題」

質問 令和2年度5月の組織再編に伴い「危機管理室を設置し、危機管理体制の強化」とある。

①危機管理室の詳細は。
②AED新設置詳細を。
③町消防団への職員の加入者数は。
④役場緊急隊の編成は。

動が求められる。特に防災・減災対策は喫緊の最重要課題と位置付け、対策を講じる必要性から設置した。

②昨年消防分団設置後、公民館、コンビニ等より要望があり、19カ所新設する。
③現在53人加入。
④役場分団としての編成は不可能ではないが、各分団の運営が難しくなると思われる。

答弁 ①返礼品等経費を除き6300万円

②寄付者の意向に沿い健康・福祉 421万円
教育・文化 2469万円

答弁 ①あらゆる災害から町民の生命、人体及び財産を保護するため、迅速かつ的確な行

動が求められる。特に防災・減災対策は喫緊の最重要課題と位置付け、対策を講じる必要性から設置した。

②昨年消防分団設置後、公民館、コンビニ等より要望があり、19カ所新設する。
③現在53人加入。
④役場分団としての編成は不可能ではないが、各分団の運営が難しくなると思われる。



柴田 初子 議員

乳がんの自己検診用

グローブの配布を

町「まず啓発用グッズとして活用していく」

活用していく

か、効果を見てみたいと考えている。

本町の乳がん検診は、30歳代からは超音波検査、40歳以上はマンモグラフィ検査となっており、受診者の状況は年間約550人、受診率は28%で推移している。

全国平均より10ポイントほど高い値となっており、町が実施するがん検診の中でも一番受診率が高い。

ピンクリボン月間である10月には、香川県と共催でマンモグラフィサンデーと称して、休日検診を実施している。



乳がん自己検診用グローブ

一般質問



森口 久士 議員

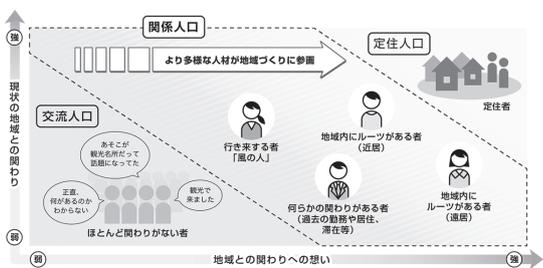
関係人口に関して

町「関係人口の増加を盛り込み、
国の補助制度を研究していく」

なものと考えている。

質問 2020年度から5年間の地方創生の方針となる第2期地方版総合戦略が始まる。柱は、関係人口の創出、拡大だ。取り組みは。

答弁 平成20年10月にふるさと応援団として、設立したクラブオリーブの展開が先駆的



質問 職員の安全運転意識の向上や事故処理がスムーズになる。また、事故や犯罪に遭遇した場合には情報提供でき、地域の防犯にも役立つのでは。

答弁 設置することが望ましい。新車の購入時には取り付け、また新しく頻度の高いものから随時設置し、今後、全車設置を目指す。

ドライブレコーダーを 公用車に設置しては 町「今後、全車設置を目指す」

将来的には、農業をはじめ地域産業の担い手の確保につなげたい。瀬戸芸も関係人口の

構築に成果を上げ、何度も訪れるうちに関係へとつながり、移住・定住へ結びついている。人口減少を少しでも緩やかにするためには、交流人口・関係人口・定住人口の増加に向け、フルセットで考える必要がある。



中松 和彦 議員

子どもたちにUターンを 望むならば

町「地場産業の魅力づくりなど、
さらに情報発信をしていきたい」

質問 本年も、1月12日に成人式が開催された。保護者をはじめ多くの参加者の下、大変意義深い式典であった。ただ、この式典において、国歌斉唱の時に、全く国歌を歌わない新成人が見られたことは、非常に残念であった。彼らは、国歌とは学校の式典で歌うものとしてのみ理解しているのだろうか。国歌さえ歌えぬ若者が、どうして故郷の父母たちに思いをはせることができようか。教育現場では、どのように子どもたちに理解をさせようとしているのか。

答弁 学習指導要領に沿って、小・中学校の社会や音楽の時間に国歌の意義について授業を行い、入学・卒業式では必ず歌っている。歌わない若者もいるが、他方歌っている若者も多数いる。また、歌わないことと、故郷



過去7年間のUターン者数の推移

情報弱者に対する施策は

町「情報収集に努め、

早目な対応をしていきたい」



安井 信之 議員

質問 ポイント付与があるうちにマイナンバーカード申請をあらゆる機会を通して情報発信に努めるべきだ。情報が入った時点で対応すべき問題だ。時期が遅過ぎるのでないか。

答弁 国はマイナンバーカードの普及をさらに進めていくために、ポイントの付与、いわゆるマイナンバーポイントの付与による消費活性化策と、マイナンバーカードが健康保険証として利用できるメ

リットを掲げている。この2点については、いまだ未確定な部分も多いことから、現段階では、住民の皆様へ十分な情報提供はできていないが、今後、国の動きに応じて遅滞なく情報提供していく。

現在、町ではマイナンバーポイントの設定支援を行っている。ただ、調査の段階で6月に回答したが、早目の対応は実施している。

今後においても、マイナンバーポイントの付与は本当に短いので、十分にご説明、情報提供すること、情報収集に努め、早目な対応をしていきたい。

特別支援学校開校までの障害者教育は

町「広く意見を聞きながら

一層の充実に努めてまいりたい」

質問 特別支援学校開校までの障害者教育については事前に調整を教育委員会が行うことが義務教育では求められる。

障害者福祉施策をどう行おうと考えているのか。

答弁 障害者施策については、施政方針のとおり、障害の有無にか

かわらず、誰もが安心して暮らすことのできる、ぬくもりと希望の島づくりを目指し、まなぶ場、くらす場、はたらく場、それに、ふれあう場の充実に取り組んでいる。

商工会のポイント制度と自治体ポイントの共用を

町「幅広い視点で検討していく」

質問 商工会のポイント制度と自治体ポイントを共用し、幅広いポイント事業で町を元気にすべきではないか。

者の利便性が向上し、町内消費拡大につながるかもしれない。

答弁 共用することができれば、確かに利用

内のみ使用可能で、確

策定する。今後の施策については、広く意見を聞きながら一層の充実に努めてまいりたい。

中学校から香川県中部養護学校等の特別支援学校に進学することが選択肢となる場合には、1学期の段階から月1回程度、教頭や担任が保護者との進路面談を行い、将来的な高校進学も見据えて、丁寧な説明を行っている。毎年10月に開催する教育支援委員会において、障害の状態や学校での状況、医師や臨床心理士の意見を踏まえ、本人の就学先であ

実には町内の商店で消費される。

指摘の島外へのポイント移行がほとんどないという点については、昨年10月からの運用で5カ月間の実績しかないため、現時点での検証は難しく、現在の商品券事業の方が有効であると考えられる。

今後の動きに注視し、町の地域経済の活性化につながるよう幅広い

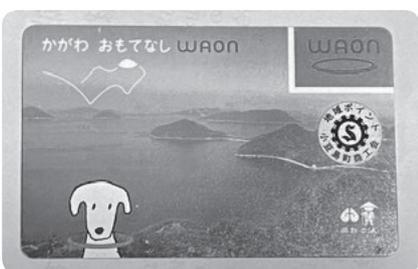
る学びの場が、通常学級、通級、特別支援学級、特別支援学校のいずれかに相当するかを総合的に判定している。特別支援学校の判定になった場合でも、中学校の特別支援学級に進学することも可能なので、最終的には保護者に判断してもらっている。

進学先が香川県中部養護学校等の特別支援学校になる場合には、具体的な対応については、直接、特別支援学校に問い合わせをしていただく場合もある。

視点で検討していく。



既に配布されている高松市チラシ



地域ポイントと一体となったカード

小学校のトイレの改善は

町「老朽化している学校から順次取り組んでいく」



森 崇 議員

【質問】 文部科学省平成28年のデータでは全国の公立小・中学校の校舎、体育館、武道館などのトイレは「140万基あり内、洋式が61万基（43.3%）、和式が79万基（56.7%）」とのことだ。最近の生徒は洋式トイレの前に並ぶ実態と聞くので早期に改善すべきと思うが。

【答弁】 中学校は1カ所に和式トイレ1基で他は、すべて洋式である。一方、小学校は逆に1カ所に洋式1基で他は



改修された苗羽小学校のトイレ

和式である。老朽化も進んでおり、小学校のトイレ改修は大きな課題である。4小学校で洋式39基、和式79基である。苗羽小学校の1階トイレは男女とも和式1基で、あとはすべて洋式に改修した。今年は星城小学校の改修に予算を計上している。低学年が利用するトイレを優先的に、老朽化している学校から順次取り組んでいく。

瀬戸内海の栄養不足は

町「県をはじめ、各専門分野に働きかけをしたい」

【質問】 先日の四国新聞に「瀬戸内海の栄養不足で不漁」と記載され、兵庫県の水産技術センターが「栄養塩と呼ばれる海中の窒素やリンの減少が主な原因だ」と掲載された。海水の栄養不足であり「プランクトン減少が原因と推測され、20年前の栄養塩レベルを

維持できればイカナゴの漁獲量が現在の2倍になる」と主張している。兵庫県は瀬戸内海環境保全特別措置法改正に向けて国と協議するそうだが、小豆島町も一緒になって行動するチャンスが来たと思う。私も兵庫県に問い合わせするが町の考えは。

働き方改革と教職員労働の改善は

町「さらなる取り組みが必要」

【質問】 昭和54年ごろ、世界から週休2日制が流れてきた。月に4日だった休みが8日になったが経営者は「休んでもよいが賃金は出せない」と主張、改善に10年かかった。私の

知っていた企業の労働者はほとんど寝ずに働き続け定年になったら亡くなっていた。教職員も人間だ。この4月からは教員も時間外労働、上限45時間、年360時間のガイドラ

【答弁】 以前は水質汚濁が進み瀬死の海と呼ばれるほど悪化していた。様々な法律規制により改善が進んだ。しかし、近年は深刻な状態になっている。過去も答弁したが小豆島町だけでは限界がある。

県をはじめ関係機関の動向を注視し、町としても海洋ゴミ回収事業、カワウ食害対策事業の実施、さらに漁協の種苗放流の補助も行っている。小豆島漁業振興協議会とも協議検討する。



瀬戸内海を豊かな海へ

インが導入される。改革のポイントはどこで、先生たちの声はどうやって聴くのか。

【答弁】 学校現場による教職員の働き方改革に向けさまざまな改革に取り組んでいる。人を増やすか、業務量を減らすしかなく、町費による支援員や指導員な

どの配置と、ノー残業デー設定・留守番電話の導入・行事の見直しで、超過勤務の減少などに取り組んでいる。長時間労働の短縮、また現場の教職員から校長と管理職が業務改善等について意見を聞き月例で報告を受けている。さらなる取り組みが必要と考える。

学校休業は柔軟な対応を

教職員の変形労働時間制は導入すべきでない

町「継続して休業する」

町「実施の可否について検討したい」



鍋谷真由美 議員

を十分につかんで対応することを求める。

【答弁】 児童・生徒の安全を第一に考え、政府方針などを踏まえ、継続して対応する。安田、

苗羽小も利用し、放課後児童クラブを併当持参で再開する。児童・生徒に学習課題を課して、各担任に週に1、2回程度、家庭訪問で、健康状態、学習の状況を把握する。就学援助を受けている約110人の方は、臨時休業中は給食費の援助はない。

【質問】 強い反対の声を押し切って強行採決された「1年単位の変形労働時間制」は、「繁忙期」に1日10時間労働まで可能とし、「閑散期」とあわせ平均で1日当たり8時間に収める制度で、「1日8時間労働」の原則を無きものとする重大な労働条件の不利益変更だ。この制度の導入で教員の長時間労働の是正はできず、導入すべきでないと考えるがどうか。

【答弁】 変形労働時間制の導入は、地方公共団体の判断によって選択的に導入することが可能で、令和3年4月1日からの施行となっている。教職員の勤務の状況や学校現場の意見も聞きながら、実施の可否について検討したい。県教委が決定している

る配置人数の教職員が、講師不足により配置できていない状況がある。町費で教職員を加配することは、予算の問題だけでなく、講師の人材がいけないという現実があり非常に難しい。

重課税の批判がある。資産割を廃止して負担を軽減すべきだ。また、子どもの数が多いほど税が高くなる均等割の減免の検討は。

【答弁】 平成30年度の国保広域化の際、国保運営協議会で議論し、現

行の4方式が望ましいとの答申を受け、国保税条例を改正した。子ども均等割減免を含め、国保税の算定方式等については、引き続き、国、県、他市町の動向を注視し、国民健康保険運営協議会で議論していきたい。

国保税の資産割の廃止を

町「ここ数年は現状でいく」



【質問】 安倍首相が専門家の意見も聞かず突如表明した一律休校は、子ども、親、学校や学童保育の現場に過大な負担を強いている。萩生田文科相は「自治体の判断を尊重」とし、一律休校要請は事実上破綻している。休校をやめる、登校日を設けるなど、柔軟な対応が必要ではないか。

子どもの教育権が奪われること、自宅待機が困難な子どもの居場所確保、給食が貴重な栄養補給源になっている子どもへの援助など、町民の困難な事態



学童保育の様子

【質問】 国保の加入世帯主は非正規雇用の労働者や年金生活の高齢者が大半で、高い保険料が大きな負担だ。国保税算定の4方式のうち、資産割は利益を生まない居住用等の資産にも課税され、しかも固定資産税との二

重課税の批判がある。資産割を廃止して負担を軽減すべきだ。また、子どもの数が多いほど税が高くなる均等割の減免の検討は。

平成30年度の国保広域化の際、国保運営協議会で議論し、現

一般質問

町内4小学校による 小学生議会



てるした かいり (苗羽)
照下 海李 議員

質問 小豆島と高松や周りの島の間に橋をかけることができれば、自由に移動ができ、瀬戸内の島と高松がつながりやすくなると思うがどうか。

答弁 島にはどこにも負けないきれいな景色があり、橋がかかると魅力は半分になってしまう。小豆島の魅力を高めながら海上交通を守っていくことが何より大切である。



てるした ちかげ (苗羽)
照下 千景 議員

質問 SNS等に投稿したくなる観光スポットを作ると、小豆島に住みたいと思う人も増えるのではないかと。人口増加、維持の施策はあるのか。

答弁 寒霞渓、オリーブ公園など、島の魅力ある写真について、SNSでの情報発信を行っている。移住対策として空き家バンクの実施や移住体験施設等を運営している。



たなべ ともき (苗羽)
田邊 知樹 議員

質問 野生動物が農作物を荒らしたりするが、大切な命であり殺すのはよくないと思う。動物園を作ると共存が可能だと考えたがどうか。

答弁 農業や生活環境に被害を及ぼすため、やむなく駆除をしている。年間約3000頭も捕獲しており、動物園は非常に難しい。人里に寄せ付けない環境を作ることが共存方法だと思う。



むつ ほまれ (池田)
睦 帆稀 議員

質問 サイクリング客を含めた観光客が多いが、道幅が狭く、危険な場所がある。安全のために道路を整備していただきたいが計画はあるのか。

答弁 自転車を利用した観光客が増えていると認識しており、環境を整えるためには道路整備は欠かせない。用地の買収など、道路事業には長い年月がかかり、簡単ではないが、努力していきたい。



やすい はな (池田)
安井 巴南 議員

質問 廃業となったホテルがいくつかあり、ガラスが割れたりするなど、印象が悪くなってしまうのでは。景観維持対策の計画はあるのか。

答弁 廃ホテルなどの大規模な建物については撤去が進んでいない。所有者に代わって解体することもできるが、解体費用の点から、慎重に考えていくことが必要である。



やまもと そうた (池田)
山本 崇太 議員

質問 太鼓のかき手が少なく、乗り子を探すのに苦労している地区もあると聞いている。このままでは太鼓祭りそのものがなくなってしまうのではないかと。

答弁 秋祭りを含めた伝統文化を引き継いでいくための計画を策定している。また、「オシコミ」等は無形民俗文化財に指定し補助を行って応援している。



苗羽・池田小学校の
小学生議員の皆さん



2月4日に4小学校の代表者12人が小学生議会に参加しました。前半は安田・星城小学校の児童が、後半は苗羽・池田小学校の児童が小学生議員となり、町に対して、子どもの視点からみた町づくりに対する質問を行いました。



みやした はると (安田)
宮下 晴渡 議員

質問 自然を生かしたアスレチック施設を整備してはどうか。また、町民が健康に過ごせるための計画はあるのか。

答弁 施設を今すぐ作るのは難しいが、検討したい。リーダーを育成し、自主的に健康づくりを行う人を増やすこと、安心して利用できる病院を守ることを重点的に取り組んでいく。



たかはし ゆな (安田)
高橋 佑奈 議員

質問 外国人観光客が気軽に来られ、島民も快適にバスなどを利用できるように、大型荷物の預かり、配送サービスを実施してはどうか。

答弁 観光施設からホテルまで配送するサービスはないが、「小豆島手ぶら観光サービス」事業として、荷物を土庄港からホテルまでと、ホテルから土庄港まで運ぶサービスを行っている。



はやみ ゆりか (安田)
速見友梨花 議員

質問 高齢者が最期まで自宅にいて、安心して元気に過ごせるため、島の看護・介護の在り方についてどう考えているのか。

答弁 小豆島中央病院や老人ホームなど、環境面は整備できた。課題は医療、介護の人材不足であり、奨学金制度を設けているので、将来の島を担う人になってもらいたい。



いしとこ まりん (星城)
石床 茉琳 議員

質問 オリーブ商品が増えれば島が元気になると思う。オリーブオイルを使ったフェイスパックを開発すれば売れると思うがどうか。

答弁 葉のエキスをを使用したフェイスマスクが販売されており、好評だと聞いている。オイルを使った化粧品はいろいろ開発されており、これからもオリーブに関心を持ってほしい。



むらすみ あやの (星城)
村角 綾乃 議員

質問 素麺や島で作られた食材を利用した「素麺フェスティバル」を開いてはどうか。また、素麺を生かした島の活性化をどう考えているのか。

答弁 素麺だけのイベントはないが、小豆島の食材全体で、「島めし」としてイベント開催予定である。展示商談会の出店補助を行うなど、情報発信して活性化につなげたい。



はまもと りきや (星城)
濱本琉綺夜 議員

質問 旧内海庁舎跡地について、活用方法は。洋服店、飲食店、ゲームセンターなどが集まったショッピングモールを作ってみてはどうか。

答弁 ショッピングモールにすると賑やかになるかもしれない。町として、安田バス停の集約、駐輪場・待合所の整備等を考えている。町の活性化につながるように活用したい。



安田・星城小学校の
小学生議員の皆さん

香川県広報発行町議会 連絡協議会研修会

1月20日、香川県広報発行町議会連絡協議会が主催する研修会に参加しました。

議会だよりの先進的取り組みを行っている福岡県大刀洗町議会広報委員会の平山委員長より、「議会活性化と連動した紙面づくり」と題した講演をいただき、住民への活動周知と連動した広報作成方法について、学習しました。

また、議会広報コンクール審査員の芳野先生より、広報の意義についてと各町の広報紙について講評をいただきました。



全員協議会

水道事業の説明

香川県広域水道企業団小豆島事務所から令和2年度事業の報告を受けるべく3月18日、全員協議会を開催しました。

新年度から開設する小豆ブロッック統括センターの概要や主要工事、維持管理体制について説明がありました。

また、主な変更点としては、水道使用料を2カ月分まとめて奇数月に徴収することや、クレジットカードでの支払いが可能になることなどです。



議会 会 日 誌

1月～3月までの主な議会活動についてお知らせします。

3 月					2 月				1 月										
26日	18日	17日	11日	10日	9日	6日	4日	26日	21日	20日	17日	31日	27日	20日	16日	14日	12日	5日	
全員協議会	広報編集特別委員会	全員協議会	本会議3日目	本会議2日目	教育民生常任委員会	議会活性化特別委員会	教育民生常任委員会	議会運営委員会	本会議1日目	総務建設・教育民生連合審査会	総務建設・教育民生連合審査会	総務建設・教育民生連合審査会	総務建設常任委員会	議会活性化特別委員会	教育民生常任委員会	議会運営委員会	成人式	広報編集特別委員会	広報編集特別委員会
香川県広報発行町議会連絡協議会研修会	緊急交通キャンペーン	議会活性化特別委員会	小豆郡町議会議長会	全員協議会	香川県村議会議長会定例会	香川県離島振興市町村議会議長会定期総会	議会運営委員会												

編集後記

新型コロナウイルス感染症で臨時休校、イベント等中止が続く中、3月議会を無事故で終えることができました。

編集委員会では、いかにすれば多くの方々に議会だよりを読んでいただけるか議論を重ね、今号の表紙の写真はフォト集団「オリーブ」の方に提供していただきました。また、裏表紙もリニューアルしました。

今後も皆さま方の知りたい情報の収集・発信に取り組んでまいります。

このウィルス感染拡大が一日も早く終息することを心より願っております。

柴田初子 記